



# もと は し つ う し ん 本橋通信

第4号  
2020年12月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★★

## ◆愚息との夏の思い出◆

皆さまこんにちは。本橋通信第4号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。この夏、在宅勤務の運動不足を解消しようと、一念発起して小学6年生の息子と「高尾山」に上りました。生まれ育った地元ながら、子供の時以来の久しぶりの登山だと思います。登山道は1号から6号まであり、1号路はケーブルカーやサル園などの観光地風なコースで距離も短いよと息子言うので、さっさと上まで登って早めに家に帰れそうだなと思い歩き始めると…。距離が短い＝結構な急こう配の道なのです！普段上り坂を歩き続けることなど決していない私の足はもうクタクタですが、そんなヲヤジをよそに息子はスタスタ歩き続けます。山に籠って苦行を重ねる山伏修行や天狗信仰の薬王院にお参りして帰るつもりでヲヤジをよそに息子は、「ここまで来たら山頂に行こうよ」と。仕方がないので付き合う羽目になりました。

ここ数年間は、仕事ばかりで子供と出かけることなどほとんど記憶がなく、いつまでも幼稚園くらいの幼い印象しかなかったもので、いつの間にか確りした男の子に成長していました。うちの息子は3月30日にとっても小さく病弱に生まれ、列の一番先頭が定位置のチビ小僧だと思っていたのですが、すっかり生意気な事を口にしたり、一丁前の主張をする少年になっていました。親が知らない間に、心も体もどんどん成長してるようです。ただ「もうちょっと本来のお勉強を頑張ってくれと良いんだけどなあ～」と、妻も私も見守っています。コロナでいろいろな機会が失われたのも事実ですが、その反面、新しい発見・体験も



たくさんあった2020年もあと僅かです。そうそう、高尾山の山頂からの帰路は、二人とも終始言葉が少なめで、途中よりケーブルカーなる便利な乗り物で無事に下山しました。もし私と一緒に高尾山登山をご希望の方がいらっしゃいましたら喜んでご案内いたします。(遠方の方々ゴメンナサイ)



## ❀本橋FαオフィスWEBサイトの制作秘話❀

オフィスの看板となるHP制作にあたり、実行方法とグランドデザインについて本橋と激論を重ねた結果、3点を大切に制作しました。①内製する②見易く、分かり易く、トンマナを整える③「らしさ」「ふさわしさ」を出す。①内製理由はコストに依るところも大ですが、②③を実現すること、今後を考え制作メンテする程度のスキルとナレッジが必要と考えました。結果、プラットフォームはWixを選択し、試行錯誤と学習を重ねて制作。アクセス分析を行うためにグーグルアナリティクスと連携。写真やイラストはwebからリーズナブルに調達。②お客様から見易く分かりやすいシンプルレイアウト、落ち着いた色彩、イメージに合致するフォント(Helvetica Light)、テキスト・ビジュアル共に過剰な表現をしないようにと…。これらを一貫。③「らしさ」「ふさわしさ」は、お客様にオフィスのメッセージとキャラクターを正しく伝えること、現在・将来に渡ってありたいオフィスの姿を表すことを心掛けました。

HPは皆様からのご意見をいただきながら、改善を重ねています。今回は「制作概要」を綴りましたが、面白可笑しく苦勞の制作秘話は、イベントやコンサルティングの機会に余談としてお話しできれば幸いです。(田村)



★日々何らかの進化を遂げる当オフィスのHP、その舞台裏には私にコキ使われる田村の苦勞があります…

## ☆IFA(Independent Financial Advisor)本橋の視点☆

共同通信社さま経由にて、各地方新聞の「ライフセミナー」コーナーに掲載して頂いております資産運用のコラムより…  
中でも数多くの方々から「見たよ」を頂戴しましたトピック「人生後半戦の資産運用」を、是非 当オフィスの皆さまにも！

\*\*\*\*\*

各地方新聞紙面 ライフセミナーQ&Aコーナー「人生後半戦の資産運用」

Q. 人生後半戦における資産運用で、注意すべき点がありますか？

A. 資産運用アドバイザーとして、リタイア層から資産運用のご相談も多くなってきました。



仕事や家族のライフイベントが一段落し、これからはご自身のセカンドライフをどう過ごしていくかを考えるタイミングなのでしょう。人生を登山に例えると、様々なことにチャレンジし一生懸命に頂上を目指すのが現役時代だとすれば、山頂から折り返し、安全・着実に麓まで下山するのが人生後半戦ということになります。

この2つの道のりでは、資産への向き合い方も全く異なります。収入がある現役時代は、将来に備え資産形成に励み、人生後半戦では、築いた資産をいかに有効活用することが大切です。資産を少しでも殖やそうと、まとまった資金で資産運用するのではなく、残りの人生を、どこで、誰と、どのように過ごし、成し遂げたい事に優先順位を付けるのです。これまで築いた資産を計画的に活用するためには、オリジナルの人生後半戦「ロードマップ作り」が欠かせません。その上で、資産の取り崩しを想定しながら、早く資産が枯渇しないよう無理のない範囲で資産運用に取り組むといった心の余裕こそ、人生後半戦において大切な資産との向き合い方ではないでしょうか。★このコラムのネタ本は五木寛之さんの「下山の思想」(幻冬舎新書)なんです…

\*\*\*\*\*

※文字数の関係で、資産＝お金みたいですが、皆さまがこれまで築いてきた人脈など、目には見えない大切な人生の資産も含んでいます…  
その他コラムも田村手製：当オフィスHPの「メディア情報」に随時アップしますので、是非ご覧ください。

### ◆編集後記◆ ピクテパトロネージュプロジェクト ⇒ <https://www.pictet.co.jp/company/patronage>

とある秋晴れの午後、スイスの老舗プライベートバンクであるピクテ投信投資顧問さまのご招待で、上野耕平さんのサクソフォンのコンサート in サントリーホールに行きました。サクスは1840年代に誕生した比較的新しい楽器で、金属(真ちゅう)で作られていながら、その発音原理からフルートやクラリネットと同じ木管楽器に分類されます。サクスと言えばJAZZのイメージですが、クラシック音楽としても全く違和感ないスバラシイ音色でした。コロナ禍でも芸術・文化という大切な資産にコミットし、守り続けるスイスのPBの哲学を肌で感じた、清々しい「芸術の秋」のひと時でした…

◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

### 【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFJ)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快！)と読書(ジャンル無差別：乱読・積読？)

お客さまに対する想い：人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい…

本橋FαオフィスWEBサイトは 本橋 IFA と検索！ <https://www.pfa-withyourlife.jp/>  
皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯：090-7909-2111 メール：information@pfa-withyourlife.jp